

(様式 1 - 表)

## 令和6年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	38	豊田市立 朝日小 学校	代表	柴田みどり
------	----	-------------	----	-------

※分野[a: 国際交流・国際理解、b: 地域連携、c: 自然体験、d: 環境教育、e: 学力向上、f: 交流体験、g: 福祉・ボランティア、h: 伝統文化、i: その他 ( )]から選ぶ。

テーマ	よりよく生きようとする姿を大切にし合える子の育成	分野	i	その他
	サブテーマ 互いの人権を大切にしたい人間関係づくりを中心にして	i(その他)は分野を右欄に記入	人権教育	
学校づくりの視点(ねらい)	1 地域のグローバル化による心を育み合う教育 ① 心の教育 (=人権教育) の重要性 ② 地域の人々の声を受け止めること ③ 保護者との連携の必要性 との思いから、「特色ある学校づくり」の中核を、 ◆ 地域・保護者とともに心を育み合う事業と考えた。 2 事業を柱とした「心の育成＝人権教育」 ① 異年齢集団とかかわる ② 地域・保護者と連携・協力することを手立てとして、以下のように計画を立てた。			
活動内容・計画	1 子どもたちの人権意識を育てるための環境づくりを進める。 ① 朝日っ子活動(縦割り班活動) ② 人権週間 2 地域の人材・教育力を生かした各種行事を行う。 ① 読み語り ② 図書館利用・本の貸し出しキャンペーン ③ 食育 ④ 昔遊び ⑤ 町たんけん ⑥ 大豆から学ぶ ⑦ 宮大工から学ぶ 3 互いに助け合い、他者を尊重し、思いやりをもって接する活動を進める。 ①朝日っ子活動(縦割り班活動) ②地域講師との交流 4 健全な心身を育むための支援を行う ① 道徳教育の充実 ② 心の相談員と連携しての支援 ③ 学生ボランティアの活用 【計画】 ・ 4～5月 = 人権的な環境整備の要望を集約(校内整備員・地域学校共働本部との打ち合わせ) 食に関する指導の全体計画の作成 道徳教育の年間計画案の作成 図書館整備と読み読みの計画案の作成 交流先・地域講師との打ち合わせ 朝日っ子活動の計画案の作成 心の相談員との連携計画案の作成 ・ 5月～ = 計画に沿った整備と活動 (図書ボランティアによる図書館整備・読み語り、総合的な学習の時間・生活科における地域講師の活用) ・ 12月 = 人権週間 ・ 2月 = 成果と課題の検討			
補助員配置	校内整備員 ・ 整備された潤いのある環境で子どもたちが生活することにより、心を豊かにすることができる。 ・ 校務主任が担う屋内外の校内整備・修繕を依頼することにより、校務主任が児童の教育活動に直結する業務により専念できる。			
実績・期待される効果	1 保護者・地域への情報発信 【実績】・学校だより「あさひの窓」(隔週発行)で、本事業にかかわる内容を紹介している。 【実績】・学年だよりやホームページで、各学年の取組の様子を随時紹介している。 2 心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな「朝日っ子」の育成 【実績】・読書に親しみ、図書館に来館する児童が多く、読み読みを心待ちにしている。 【期待効果】・障がい者や高齢者への理解が進み、自然に接することができるようになる。 【期待効果】・食に関する指導で学んだことを、給食の時間や家庭で生かせるようになる。 【期待効果】・美しく整備された学校で学ぶことにより、健全な心身を育むことができる。 【期待効果】・心の相談員との連携を充実することにより、問題等の早期発見、対応が可能になり、児童が明るく元気に生活することができる。			
検証方法	1 外部評価、学校運営協議会、PTA役員会・運営委員会から、保護者・地域の意見を集約する。 2 児童あのおねアンケート、教育相談「あのおねタイム」により、児童の思いを受け止める。 3 指導をいただいた地域講師の方々の感想・意見を、次の活動に生かす。 4 実際に指導に携わっている教職員の意見を交換し合い、成果と課題を共有する。			